

農業



士別市の中心となる産業の一つに農業があります。その農業の発展に力を尽くした人物に、^{ふしょうとうきち}富生藤吉、^{やまざきえいた}山崎永太がいます。

富生藤吉は、泥炭地で農業に適さなかった多寄町で^{ねんどきやくど}粘土客土という土地改良を行いました。泥炭地とは分解されず堆積した植物によってできる沼地のような場所のことを言います。こうした土地に粘土を混ぜることで、耕作に適した土地に変え、現在の農業の基盤を作り上げました。



山崎永太は、寒冷な気候の士別では栽培の難しかった稲作を、^{すいとうおんしょういくびょう}水稻温床育苗という方法で育てることに成功しました。これにより寒冷な北海道でもより多くの稲作ができるようになりました。

こうした先人たちの苦勞によって、士別市は農業のまちとして活躍することができています。